



マナウス日本人学校 学校だより

マナウス

2020年（令和2年）11月30日 第4号 文責：校長 柏木 廣喜

学校教育目標

- ・自ら進んで学びとる子ども （知）
- ・礼儀正しく思いやりのある子ども （徳）
- ・心と体を鍛える子ども （体）



## 7ヶ月遅れの「着任式」でした！



4月から7ヶ月間、日本から本校の教育活動に携わってくださったお二人の先生が、11月9日(月)、やっとマナウスに来ることができました。小野田泰志先生、朝倉晴美先生です。

入国時の手続きなども無事終了し、11月13日(金)に着任式を行うことができました。着任式では、M.Hさんが歓迎の言葉を述べてくれました。

朝倉先生は4年生の担任、小野田先生は中学部の担任となります。これで派遣教員8名やっとそろえることができました。今後ともよろしくお願ひいたします。

### 【小野田泰志先生】

愛知県から参りました。20年ほど前にアルゼンチンの日本人学校に赴任していました。再び大好きな南米に来ることができて、大変喜んでます。今年度は中学部の担任と、授業は主に理科を担当します。マナウス日本人学校の子どもたちは、全日コースの子も日本文化コースの子も元気で明るい挨拶をしてくれてとてもうれしく思います。私も子どもたちに負けないように、元気に頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。



### 【朝倉晴美先生】

兵庫県から派遣されました朝倉晴美です。四国で生まれ育って、結婚してからは宝塚市（神戸の近くの市です。）に住んでいます。宝塚市は宝塚歌劇があり、「鉄腕アトム」の作者手塚治虫の出身地です。

マナウス日本人学校に初めて来た日。車から校門を見た瞬間、「なんてかわいらしい学校なんでしょう！！そして、お花がいっぱい！」と感激したことを、今でも強く覚えています。毎朝、学校に着くたびに、さあ！今日も楽しくなりそう！という気持ちが湧いてきます。

ブラジルもマナウスも初めてです。そして、南米大陸に降り立つのも初めての朝倉です。でも、もうすでに、このマナウスの空気がとても好きになっています。

まず、空がとても素敵です。毎日、雲を見るのが楽しみです。同じ雲のかたちは、一度もありませんね。夕陽も朝陽もたくさん写真を撮りました。

また、マナウスの皆さんがとてもやさしいです。笑顔も素敵です。ホテルのスタッフさん、レストランの店員さん、DBのレジの人。みんなみんなやさしいです。

そして、感動したこと一番は、マナウス日本人学校の児童・生徒の皆さんのかわいらしくも、頼もしいことです。このような皆さんと、一緒に学べ、活動できることは、とても貴重でかけがえのない日々となることでしょう。Eu estou animada!

どうぞ、よろしくお願ひいたします。





## 着任式の日、学校にアララが！

着任式の日、2校時目の水泳の時間のことです。プールを囲むジャングルに、4羽のアララがやってきました。この4羽は10分程度、プールから見える木立の中にたたずみ、水泳の様子をうかがっていました。この日は小野田先生、朝倉先生の着任の日。アマゾンの住人「アララ」も、お二人の来伯を歓迎してくれていたと思います。

## 今年は文化コースの児童生徒もクラブに参加しています！

去年の「クラブ」の時間は全日コースの児童生徒だけでした。今年はクラブをアララの時間に組み入れ、「文化コースの児童生徒」も参加しています。

アララの時間は、3週間で「全校体育・委員会・クラブ」という3つの活動がローテーションするようになっていきます。その中でクラブは3つ。それぞれの興味・関心によって各自が選択しました。みんな楽しく授業・活動を行っています。

マンガ・イラストクラブ	ものづくりクラブ	かがくクラブ
 <p>K.K さん、M.H さん、 H.U さん、S.M さん</p>	 <p>M.H さん、Y.Y さん、 I.U さん、M.T さん、 E.E さん</p>	 <p>H.T さん、G.A さん M.H さん、L.M さん</p>

## 学校を再開して一月半が経過しました。ご協力に感謝します。

10月13日(火)に対面による授業を再開し、今日で約一月半が経過しました。この間、大膽なく学校を運営できたこと、あらためまして保護者の皆さんに感謝いたします。

中南米地区の日本人学校の中には、「まだ休校中でオンライン授業を行っているところ」もいくつかあります。そのような状況の中、本校は「確かな学力、豊かな心、たくましい体」の育成に向け、保護者の皆様の協力及び保護者相互の信頼を基盤として、州政府や在マナウス日本国総領事館からの助言もいただき、学校を再開いたしました。

こうして一月半過ぎてみて強く感じるのは、「マナウスが他国・他地域よりコロナウイルスの状況が落ち着いたわけではない」ということです。むしろ、厳格な行動・外出制限を課している近隣諸国に比べると、「感染のリスク」は極めて高いと言わざるを得ません。そのような状況にあって、子どもたちの学ぶ権利を保障できたのは、関係者の感染予防に対する不断の努力、深い思慮、適切な行動、的確な対応のおかげと感謝しております。

「チームマナウス」では、みんなで「マナウス丸」に乗り込み、一枚岩となって「コロナ禍の中で子どもたちの学ぶ権利を保障する」という、いまや全世界普遍的となった喫緊の課題に対峙してまいりますので、今後ともご協力をお願いいたします。

